

最後の晩餐とユダの裏切り

マルコの福音書 14:12～26

I. 最後の晩餐の準備

1. 弟子たちは困っていた 監視の目があるエルサレムのどこで食事を？
2. 主には備えがあった すでに整った宴会席とそこに至る方法まで
3. 弟子たちが言ってみるとその通りであった ヨハネとペテロが準備
4. なぜこのような方法を？ ユダが祭司長たちに密告できないように

ユダの計略の上を進まれるイエス。主は一切の出来事の主。



水がめを運ぶのは当時女性の仕事！

II. 最後の晩餐での衝撃

1. 食事をともにするというこゝろ 親しさと信頼の象徴

過越の食事：(1)最初の杯と祝福の祈り(2)苦菜を食べる(エジプトの奴隷時代を忘れないため)(3)種なしパン、ローストした子羊の肉、他(4)家長が苦菜を鉢(ハローセト)に浸して祝福の祈りをし、食べる。他の者もそれに続いて食べる(5)二杯目の杯としてぶどう酒を水で薄める。[子供が父親にこの儀式のわけを尋ねる](6)ハレル(讚美)の詩篇 113と 114 を歌い、二杯目の杯を讚美の歌を歌いながら飲む(7)家長は手を洗い、パンを二枚とり、一枚を割いて、もう一枚の上に置き、大地の恵みであるパンを祝福し、ちぎったパンを苦菜で包み、それを鉢(ハローセト)に浸して食べる。そして子羊の肉も食べる(8)他の者全員も加わって食べる(マルコ 14:18)。ここで裏切る者がいる、との言明が初めてなされる。(9)晩餐の締めくくりとして、家長が最後に子羊の肉片を食べた時点で食事は終了となり、三杯目の杯が回される。(10)ハレルの詩篇を歌い、祝福の祈りをする。

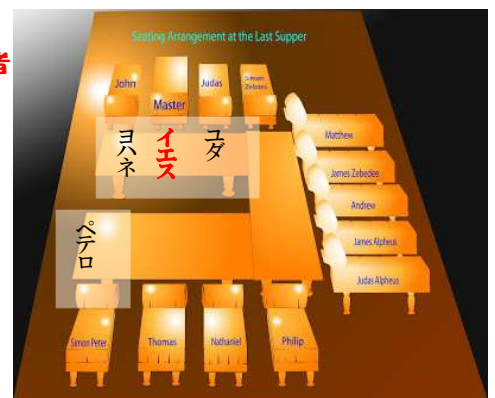
2. 衝撃的なイエスのことば

- 食事をともにした者が相手を裏切ることは人間として最低の行為(ユダヤの文化)
- しかも、それは十二弟子の一人！
- 「まさか私ではないでしょう」 **私たちは自分の罪深さに気づかない者**
- 「一緒に鉢に浸している者(or 浸す者)が裏切る」
- しかし、その後、何事もなかったかのように推移「悪い冗談」

3. 隠れたメッセージ

- ユダの座った位置に注意(イエスの右！)
- 同じ鉢に浸す(一番弟子？)
- 洗足(ヨハネ13章)、「友よ」(マタイ 26:50)

宿命ではなく、主に立ち返るという選択



最後の晩餐の座席順

へブル人への手紙 13:8

イエス・キリストは、昨日も今日も、とこしえに変わることがありません。

III. 私たちへのメッセージ

1. キリストに期待するものを間違えてはいないか

- キリストを利用しようとする心[自分が主] vs キリストに従い、自分の「城」を明け渡す心 [キリストが主]
- キリストが提供できるものは ① 私たちの生きる目的 ② 罪の赦し ③ 永遠の裁きからの救い ④ ともにいられて私たちを導き、慰め、励ましてくださる ⑤ 聖霊の内住 ⑥ 新天新地で神に仕える ⑦ 天での再会 ⑧ 生きているときにはわからなかった謎がすべて解き明かされる ⑨ 神の愛 …
- キリストを信じて恥と迫害を受けた時代、評価された時代、流行した時代… 今の日本はどうか

2. ユダからの教訓

- 過去にどれほどの神のわざ(奇跡、伝道)を行っても、キリストを捨てればすべてが水の泡
- キリストの愛を拒み続けると、そこにサタンが入る！(二度と悔い改めができないほどに)
- 「父よ、彼らをお赦しください」(ルカ 23:34)。聞くだけでなく、受けなければ無意味。

「生まれなかった方が幸い」とはどういう人か

福音メッセージ 最後の晩餐とユダの裏切り

マルコの福音書 14 章 12～26 節 【新改訳2017】

- 12 種なしパンの祭りの最初の日、すなわち、過越の子羊を屠る日、弟子たちはイエスに言った。「過越の食事ができるように、私たちは、どこへ行って用意をしましょうか。」
- 13 イエスは、こう言って弟子のうち二人を遣わされた。「都に入りなさい。すると、水がめを運んでいる人に出会います。その人について行きなさい。」
- 14 そして、彼が入って行く家の主人に、『弟子たちと一緒に過越の食事をする、わたしの客間はどこかと先生が言っております』と言いなさい。
- 15 すると、その主人自ら、席が整えられて用意のできた二階の大広間を見せてくれます。そこでわたしたちのために用意をなさい。」
- 16 弟子たちが出かけ行って都に入ると、イエスが彼らに言われたとおりであった。それで、彼らは過越の用意をした。
- 17 夕方になって、イエスは十二人と一緒にそこに来られた。
- 18 そして、彼らが席に着いて食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一人で、わたしと一緒に食事をしている者が、わたしを裏切ります。」
- 19 弟子たちは悲しくなり、次々にイエスに言い始めた。「まさか私ではないでしょう。」
- 20 イエスは言われた。「十二人の一人で、わたしと一緒に手を鉢に浸している者です。」
- 21 人の子は、自分について書かれているとおり、去って行きます。しかし、人の子を裏切るその人はわざわいです。そういう人は、生まれて来なければよかったです。」
- 22 さて、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」
- 23 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、彼らにお与えになった。彼らはみなその杯から飲んだ。
- 24 イエスは彼らに言われた。「これは、多くの人のために流される、わたしの契約の血です。」
- 25 まことに、あなたがたに言います。神の国で新しく飲むその日まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、もはや決してありません。」
- 26 そして、賛美の歌を歌ってから、皆でオリーブ山へ出かけた。